

第9期(平成25年3月期)決算について

(金額単位:百万円)

百万円未満切捨て表示

1. 経営成績の概要

(1) 全体概況

- ・当期の決算は、東日本大震災等の影響を受けた前期からの反動により、旅客運輸収入等が増加し、営業収益、営業利益、経常利益、当期純利益がいずれも増加

[営業収益は4期ぶりの増加となり過去最高、当期純利益は5期ぶりの増加]

上段:連結数値 下段:個別数値

	24年3月期 決算 A	25年3月期 決算 B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
営業収益	366,838 (332,008)	382,249 (343,691)	+15,410 (+11,683)	+4.2% (+3.5%)
営業費	291,823 (261,363)	294,080 (260,960)	+2,256 (△402)	+0.8% (△0.2%)
営業利益	75,014 (70,645)	88,168 (82,731)	+13,153 (+12,086)	+17.5% (+17.1%)
経常利益	58,543 (54,956)	73,381 (68,825)	+14,837 (+13,869)	+25.3% (+25.2%)
当期純利益	31,366 (29,901)	45,240 (43,080)	+13,874 (+13,178)	+44.2% (+44.1%)
包括利益	31,349	45,250	+13,901	+44.3%

① 営業収益

3,822億円(前期比+154億円)

- ・震災等の影響を受けた前期からの反動により、旅客運輸収入等が増加し、営業収益は増加

② 営業費

2,940億円(前期比+22億円)

- ・主として当社の人件費及び減価償却費が減少したものの、電気料の増加等により、諸経費が増加した結果、営業費は増加

③ 営業利益

881億円(前期比+131億円)

- ・営業外収益は、4億円増加の20億円
- ・営業外費用は、支払利息の減少等により、12億円減少の167億円

[営業外損益

△147億円(前期比+16億円)]

④ 経常利益

733億円(前期比+148億円)

- ・特別利益は、受贈財産評価額の減少等により、7億円減少の61億円
- ・特別損失は、固定資産圧縮損の増加等により、1億円増加の60億円

[特別損益

+1億円(前期比△8億円)]

⑤ 当期純利益

452億円(前期比+138億円)

(2)セグメント別概況

		24年3月期 決算 A	25年3月期 決算 B	増減	
				金額 B-A	率 (B-A)/A
運輸	営業収益 (うち対外部顧客)	325,235 (311,045)	338,373 (323,522)	+13,137 (+12,476)	+4.0% (+4.0%)
	営業費	256,728	257,531	+802	+0.3%
	営業利益	68,506	80,842	+12,335	+18.0%
流通・ 不動産	営業収益 (うち対外部顧客)	38,077 (38,024)	39,180 (39,123)	+1,103 (+1,099)	+2.9% (+2.9%)
	営業費	33,379	34,376	+997	+3.0%
	営業利益	4,697	4,804	+106	+2.3%
その他	営業収益 (うち対外部顧客)	18,798 (17,769)	20,750 (19,603)	+1,951 (+1,833)	+10.4% (+10.3%)
	営業費	17,050	18,292	+1,241	+7.3%
	営業利益	1,747	2,458	+710	+40.7%
調整額	営業収益 (うち対外部顧客)	△15,272 -	△16,055 -	△782 -	- -
	営業費	△15,335	△16,119	△784	-
	営業利益	62	63	+1	+2.4%
連結	営業収益 (うち対外部顧客)	366,838 (366,838)	382,249 (382,249)	+15,410 (+15,410)	+4.2% (+4.2%)
	営業費	291,823	294,080	+2,256	+0.8%
	営業利益	75,014	88,168	+13,153	+17.5%

①運輸業

- ・震災等の影響を受けた前期からの反動により、特に定期外の旅客運輸収入等が増加し、増収増益

②流通・不動産事業

- ・Echika fit銀座、渋谷ヒカリエの開業や店舗のリニューアル効果等により増収増益

③その他事業

- ・震災等の影響を受けた前期からの反動に伴う顧客への広告販売の増加や、トンネル内での携帯電話利用サービス開始等により、増収増益

2. 財政状態及び長期債務の概要

- ・ 当期末の総資産額は、設備投資等により固定資産の増加があった一方、譲渡性預金等の流動資産が減少したことにより、概ね前期末並み
- ・ 当期末の負債額は、長期債務の返済等により、前期末比353億円の減少
- ・ 当期末の純資産額は、主として当期純利益の繰入により、前期末比347億円の増加

	24年3月期 期末 A	25年3月期 期末 B	増減	
			金額 B-A	率 (B-A)/A
資産合計	1,269,863	1,269,341	△521	△0.0%
負債合計	884,060	848,746	△35,314	△4.0%
純資産合計	385,802	420,595	+34,792	+9.0%
長期債務残高	705,668	664,863	△40,805	△5.8%
自己資本比率	30.4%	33.1%	-	-
D/E レシオ	1.8倍	1.6倍	-	-

(注1 長期債務残高＝長期借入金残高＋社債残高)

(注2 D/Eレシオ＝長期債務残高／純資産額)

3. キャッシュ・フローの概要

- ・ 営業活動によるキャッシュ・フローは、営業収益の増加等により、前期比203億円の収入増となる1,208億円の資金の流入
- ・ 投資活動によるキャッシュ・フローは、設備投資を中心に、前期比128億円の支出増となる801億円の資金の流出
- ・ 財務活動によるキャッシュ・フローは、社債の発行があったものの、長期債務の返済及び配当金の支払いにより、前期比337億円の支出増となる514億円の資金の流出

	24年3月期 決算 A	25年3月期 決算 B	増減 金額 B-A
営業活動による キャッシュ・フロー	100,464	120,842	+20,378
投資活動による キャッシュ・フロー	△67,253	△80,132	△12,879
(フリー・ キャッシュ・フロー)*	(33,210)	(40,709)	(+7,498)
財務活動による キャッシュ・フロー	△17,721	△51,463	△33,742
現金及び現金 同等物の増減額	15,489	△10,754	△26,243
現金及び現金 同等物の期末残高	41,709	30,955	△10,754

*(フリー・キャッシュ・フロー)＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

【参考1】平成25年3月期 連結損益計算書

(単位:百万円)	24年3月期 決算 A	25年3月期 決算 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
営業収益	366,838	382,249	+15,410	+4.2%	{ 旅客運輸収入 +9,379 広告収入 +1,127
営業費	291,823	294,080	+2,256	+0.8%	
営業利益	75,014	88,168	+13,153	+17.5%	
営業外収益	1,561	2,012	+450	+28.9%	
営業外費用	18,032	16,799	△1,233	△6.8%	
(うち支払利息)	(17,689)	(16,606)	(△1,083)	(△6.1%)	
経常利益	58,543	73,381	+14,837	+25.3%	
特別利益	6,887	6,157	△729	△10.6%	受贈財産評価額 △688
特別損失	5,951	6,054	+103	+1.7%	
税金等調整前 当期純利益	59,479	73,484	+14,004	+23.5%	
法人税等	28,113	28,243	+130	+0.5%	{ 法人税、住民税及び 事業税 +5,673 法人税等調整額 △5,543
当期純利益	31,366	45,240	+13,874	+44.2%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考2】平成25年3月期 連結貸借対照表

(単位:百万円)	24年3月期 期末 A	25年3月期 期末 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
流動資産	87,062	79,181	△7,880	△9.1%	譲渡性預金等 △12,053
現金及び預金	18,215	19,459	+1,243	+6.8%	
未収運賃	18,352	19,426	+1,074	+5.9%	
その他	50,495	40,295	△10,199	△20.2%	
固定資産	1,182,800	1,190,160	+7,359	+0.6%	
有形固定資産	1,062,393	1,062,508	+114	+0.0%	
無形固定資産	85,822	92,688	+6,866	+8.0%	
投資その他の資産	34,584	34,963	+378	+1.1%	
資産合計	1,269,863	1,269,341	△521	△0.0%	
流動負債	157,068	168,799	+11,730	+7.5%	
1年内返済長期借入金 及び1年内償還社債	50,780	57,416	+6,635	+13.1%	
未払金	35,335	31,443	△3,892	△11.0%	
未払法人税等	9,857	17,795	+7,937	+80.5%	
その他	61,094	62,144	+1,049	+1.7%	
固定負債	726,991	679,947	△47,044	△6.5%	
社債	390,000	370,000	△20,000	△5.1%	
長期借入金	264,888	237,447	△27,441	△10.4%	
退職給付引当金	52,776	52,309	△466	△0.9%	
その他	19,327	20,190	+862	+4.5%	
負債合計	884,060	848,746	△35,314	△4.0%	
純資産	385,802	420,595	+34,792	+9.0%	
負債・純資産合計	1,269,863	1,269,341	△521	△0.0%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考3】平成25年3月期 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)	24年3月期 決算	25年3月期 決算	増減 金額	主な増減要因
	A	B	B-A	
営業活動によるキャッシュ・フロー	100,464	120,842	+20,378	
税金等調整前当期純利益	59,479	73,484	+14,004	
減価償却費	76,571	71,896	△4,674	
営業債権の増減額	△4,546	△1,701	+2,844	
その他	△5,534	△2,730	+2,803	
法人税等の支払額	△25,504	△20,105	+5,399	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△67,253	△80,132	△12,879	
設備投資額	△72,827	△85,417	△12,589	
補助金の受入れによる収入	5,512	2,565	△2,946	
その他	61	2,719	+2,657	
(フリー・キャッシュ・フロー)	33,210	40,709	+7,498	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△17,721	△51,463	△33,742	
長期借入れ及び社債の発行による収入	64,858	9,943	△54,915	
長期借入金の返済及び社債の償還による支出	△73,172	△50,805	+22,366	
配当金の支払額	△9,296	△10,458	△1,162	
その他	△111	△143	△32	
現金及び現金同等物の増減額	15,489	△10,754	△26,243	
現金及び現金同等物の期首残高	26,220	41,709	+15,489	
現金及び現金同等物の期末残高	41,709	30,955	△10,754	

(百万円未満切捨て表示)

【参考4】平成25年3月期 個別損益計算書

(単位:百万円)	24年3月期 決算 A	25年3月期 決算 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
鉄道事業営業収益	322,379	332,809	+10,429	+3.2%	
旅客運輸収入	289,272	298,651	+9,379	+3.2%	定期 +3,192 定期外 +6,186
鉄道線路使用料収入	1,793	1,617	△176	△9.8%	
運輸雑収	31,313	32,540	+1,226	+3.9%	広告料金収入 +841 車両使用料 +277
鉄道事業営業費	255,899	254,632	△1,267	△0.5%	
人件費	84,562	83,821	△740	△0.9%	労務構成の変化等による減 電気料 +3,019 固定資産除却費 +782
経費	89,323	93,549	+4,225	+4.7%	
諸税	8,586	8,668	+82	+1.0%	
減価償却費	73,426	68,592	△4,834	△6.6%	
鉄道事業営業利益	66,479	78,176	+11,696	+17.6%	
関連事業営業収益	9,628	10,882	+1,253	+13.0%	渋谷ヒカリエ +856
関連事業営業費	5,463	6,327	+864	+15.8%	
関連事業営業利益	4,165	4,554	+389	+9.3%	
全事業営業利益	70,645	82,731	+12,086	+17.1%	
営業外収益	2,341	2,925	+583	+24.9%	
営業外費用	18,030	16,831	△1,199	△6.7%	支払利息 △1,077
経常利益	54,956	68,825	+13,869	+25.2%	
特別利益	6,875	6,155	△720	△10.5%	受贈財産評価額 △688
特別損失	5,875	5,904	+29	+0.5%	
税引前当期純利益	55,956	69,075	+13,119	+23.4%	
法人税等	26,055	25,995	△59	△0.2%	法人税、住民税及び事業税 +5,353 法人税等調整額 △5,413
当期純利益	29,901	43,080	+13,178	+44.1%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考5】平成25年3月期 個別貸借対照表

(単位:百万円)	24年3月期 期末 A	25年3月期 期末 B	増減		主な増減要因
			金額 B-A	率 (B-A)/A	
流動資産	81,850	72,806	△9,043	△11.0%	
現金及び預金	16,485	17,785	+1,300	+7.9%	
未収金	8,387	7,277	△1,110	△13.2%	
短期貸付金	8,006	6	△7,999	△99.9%	
有価証券	15,500	11,500	△4,000	△25.8%	譲渡性預金
その他	33,471	36,237	+2,765	+8.3%	{ 未収運賃 +1,082 繰延税金資産 +768
固定資産	1,181,738	1,188,904	+7,166	+0.6%	
鉄道事業固定資産	1,043,364	1,041,455	△1,909	△0.2%	
関連事業固定資産	35,341	41,302	+5,960	+16.9%	
各事業関連固定資産	16,485	17,189	+703	+4.3%	
建設仮勘定	44,997	47,224	+2,227	+5.0%	
投資その他の資産	41,549	41,733	+183	+0.4%	
資産合計	1,263,589	1,261,711	△1,877	△0.1%	
流動負債	167,570	181,051	+13,481	+8.0%	
1年内返済長期借入金	40,780	27,416	△13,364	△32.8%	
1年内償還社債	10,000	30,000	+20,000	+200.0%	
未払金	34,711	31,712	△2,999	△8.6%	
未払法人税等	8,736	16,448	+7,711	+88.3%	
その他	73,341	75,473	+2,132	+2.9%	{ 前受金 +887 前受運賃 +800
固定負債	720,723	672,728	△47,994	△6.7%	
社債	390,000	370,000	△20,000	△5.1%	
長期借入金	264,888	237,447	△27,441	△10.4%	
退職給付引当金	50,318	49,724	△594	△1.2%	
その他	15,516	15,557	+41	+0.3%	
負債合計	888,293	853,780	△34,512	△3.9%	
純資産	375,295	407,930	+32,634	+8.7%	
株主資本	375,276	407,898	+32,622	+8.7%	
評価・換算差額等	18	31	+12	+69.5%	
負債・純資産合計	1,263,589	1,261,711	△1,877	△0.1%	

(百万円未満切捨て表示)

【参考6】平成25年3月期 長期債務残高の推移

(単位:百万円)	16年3月期	17年3月期	18年3月期	19年3月期	20年3月期	21年3月期	22年3月期	23年3月期	24年3月期	25年3月期	
	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	金額	構成割合
借入金	460,432	414,895	375,600	345,710	336,558	337,875	319,996	293,840	305,668	264,863	39.8
政府借入金	310,744	283,357	258,864	236,753	216,891	197,717	179,462	163,758	149,814	136,302	20.5
財政融資資金	272,330	256,398	240,342	224,390	208,910	193,302	178,250	163,758	149,814	136,302	20.5
簡保積立金	38,414	26,959	18,522	12,363	7,981	4,415	1,212	-	-	-	-
無利子借入金	134,217	112,033	89,849	67,665	48,430	33,188	21,320	12,444	5,698	1,497	0.2
民間借入金	14,986	19,070	26,550	41,000	71,000	106,760	119,040	117,480	150,020	126,960	19.1
福祉医療機構借入金	484	434	337	291	237	210	173	157	136	103	0.0
社債	453,799	444,242	437,911	442,089	434,045	415,000	415,000	420,000	400,000	400,000	60.2
社債	-	20,000	20,000	50,000	90,000	90,000	90,000	120,000	150,000	160,000	24.1
政府引受交通債券	51,799	32,242	25,911	17,089	9,045	-	-	-	-	-	-
公募交通債券	402,000	392,000	392,000	375,000	335,000	325,000	325,000	300,000	250,000	240,000	36.1
合計	914,231	859,137	813,511	787,799	770,603	752,875	734,996	713,840	705,668	664,863	100.0
(有利子負債残高)	780,013	747,103	723,662	720,133	722,173	719,687	713,675	701,395	699,970	663,365	99.8
債務残高指数 (16年3月期=100)	100.0	94.0	89.0	86.2	84.3	82.4	80.4	78.1	77.2	72.7	

※債務残高は、短期借入金、リース債務を除いた数値である

(百万円未満切捨て表示)

【参考7】平成25年3月期 運輸成績の概要

[輸送人員(合計)、旅客運輸収入(定期、合計)は過去最高]

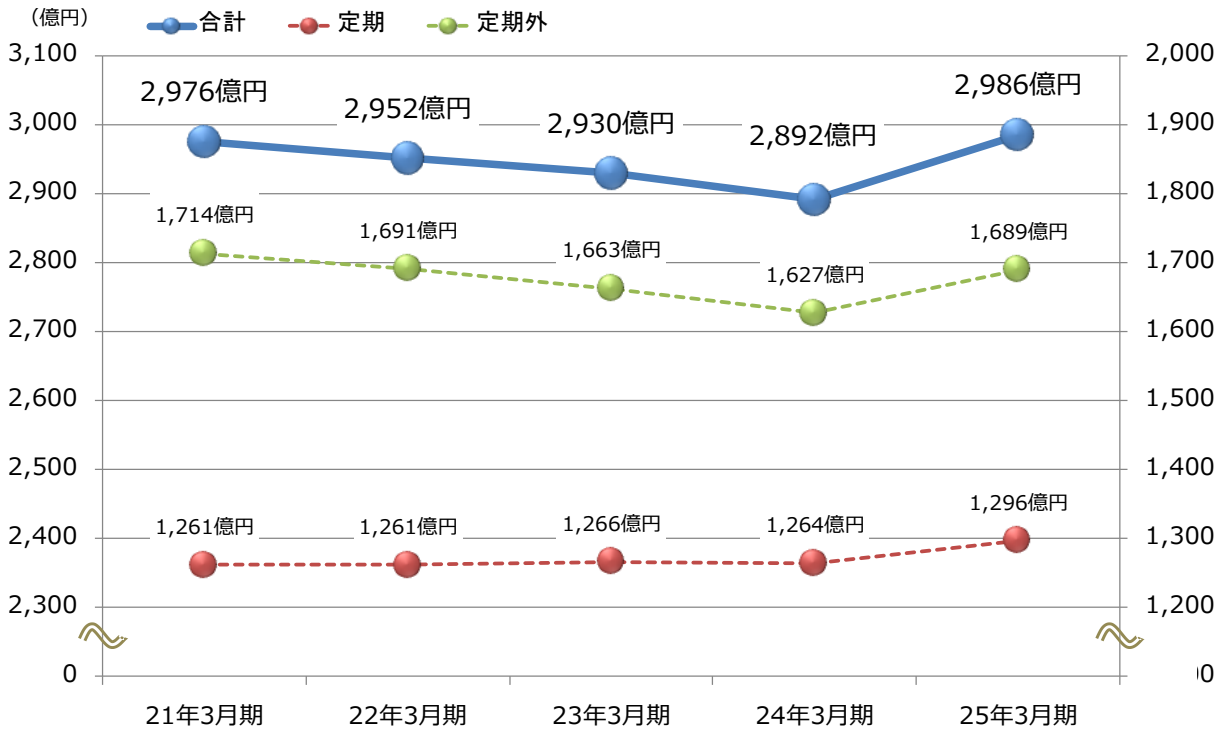
区分	輸 送 人 員			
	24年3月期	25年3月期	増減	
	A	B	人員 B-A	率 (B-A)/A
	千人	千人	千人	%
定 期	1,303,187 (3,561)	1,336,498 (3,662)	+33,311 (+101)	+2.6
定 期 外	974,408 (2,662)	1,012,414 (2,774)	+38,005 (+111)	+3.9
合 計	2,277,595 (6,223)	2,348,913 (6,435)	+71,317 (+212)	+3.1

区分	旅 客 運 輸 収 入			
	24年3月期	25年3月期	増減	
	A	B	金額 B-A	率 (B-A)/A
	百万円	百万円	百万円	%
定 期	126,499	129,691	+3,192	+2.5
定 期 外	162,772	168,959	+6,186	+3.8
合 計	289,272	298,651	+9,379	+3.2

(注)1. ()内は一日平均

2. 単位未満切捨て表示(一日平均輸送人員は除く)

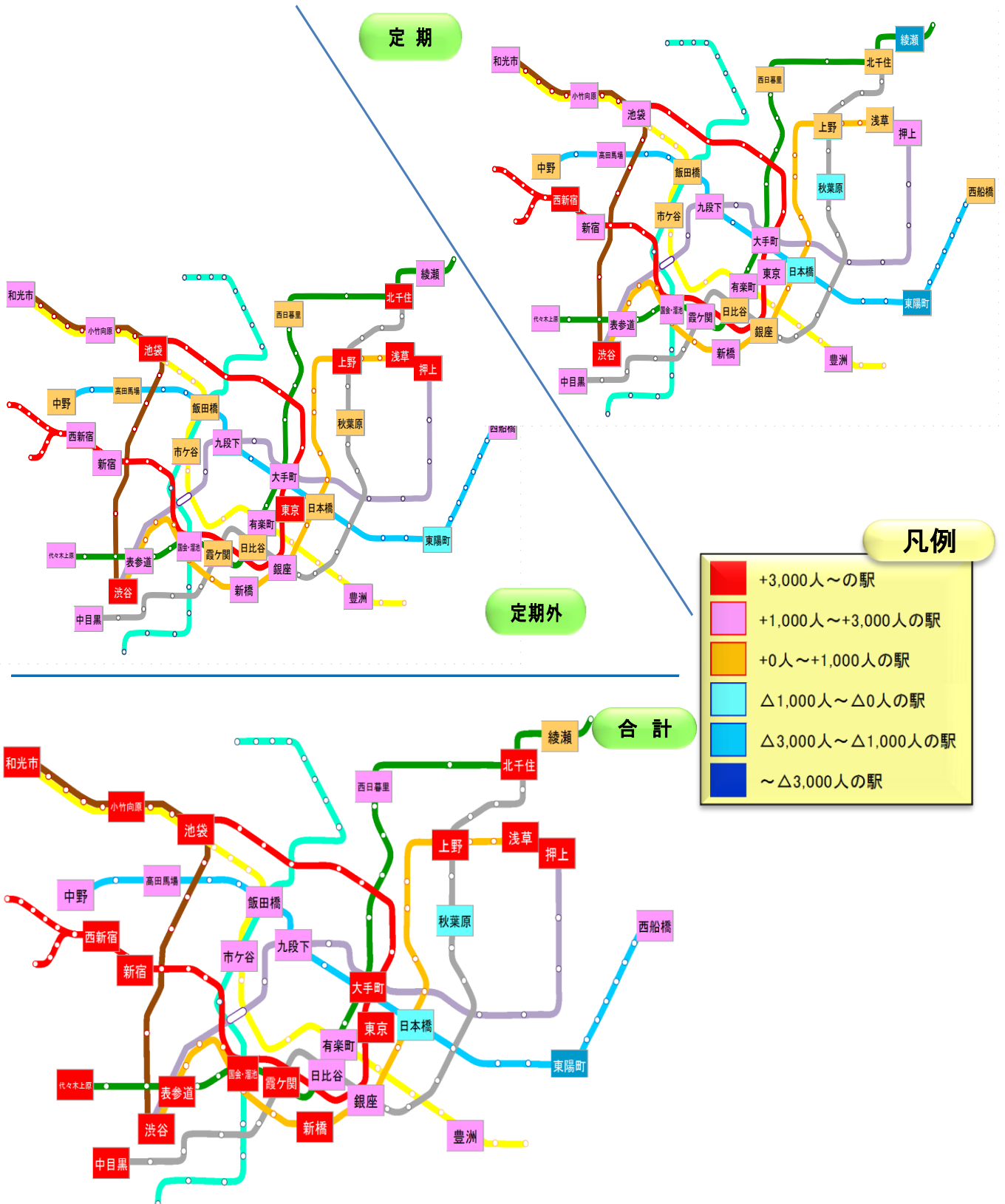
【参考8】旅客運輸収入の推移



(注: 単位未満切捨て表示)

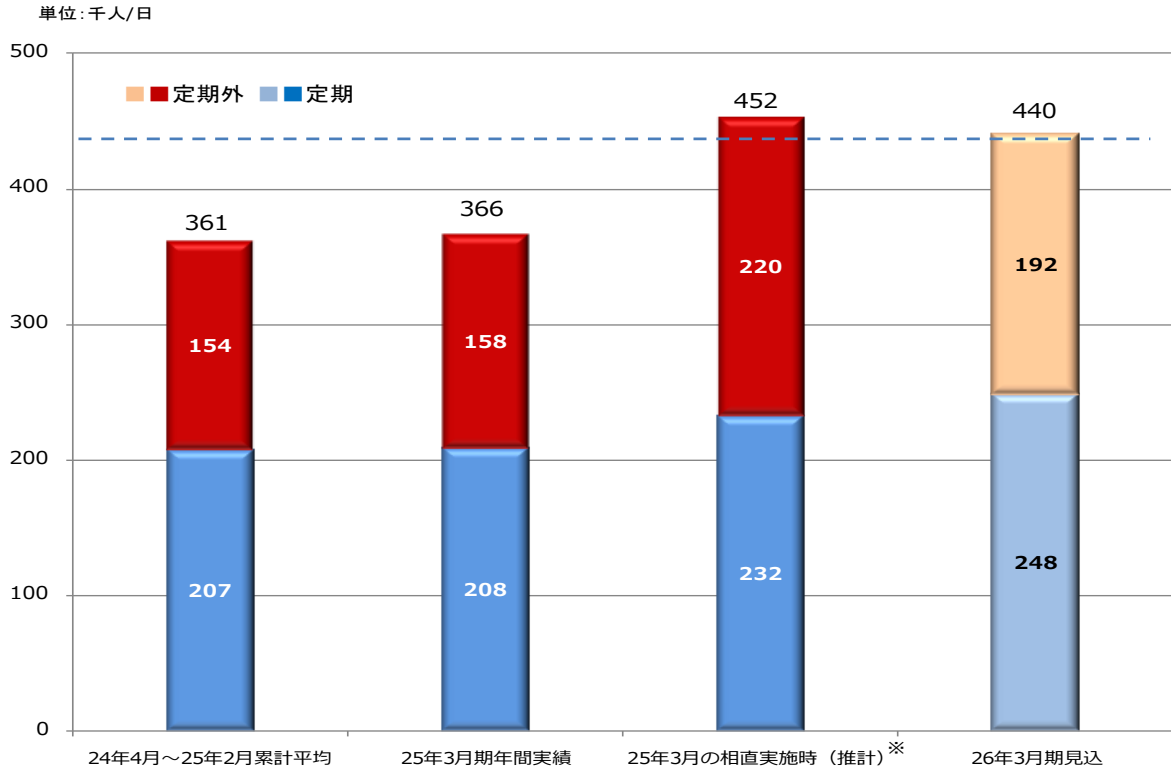
【参考9】主要駅における前期との1日平均乗車人員の比較

- 定期は、前期比では東京駅、霞ヶ関駅といった都心の駅や、西新宿駅等の副都心の駅等ビジネスエリアを中心に好調です。
- 定期外は、前期比では震災の影響からの反動増が大きく表れています。その中でも、東京スカイツリーの影響により押上、浅草、上野等の駅及び都心・副都心のビジネスエリアの駅が特に好調です。



【参考10】副都心線一日平均輸送人員

- 副都心線の日平均輸送人員は相直開始前の平均36.1万人から年間実績では36.6万人へと増加しました。
- 25年3月の相直後に限った一日平均輸送人員は45.2万人※ となっております。

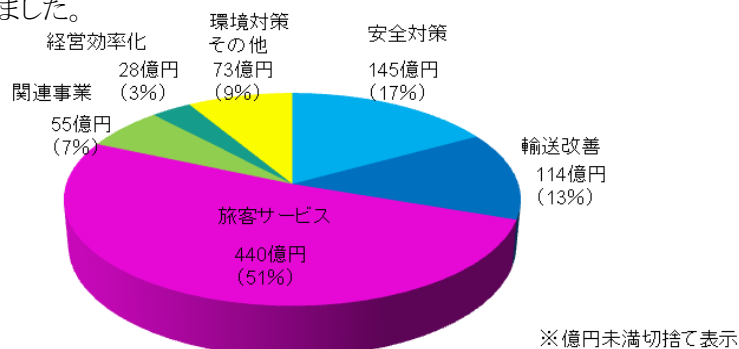


※相直後の数値は推計値です。

【参考11】平成25年3月期における当社の設備投資実績及び主な取組

1. 設備投資実績について

平成25年3月期は、旅客サービスや安全対策を中心に、特殊会社化以降、過去最大級となる857億円の設備投資を実施しました。



2. 主な取組について

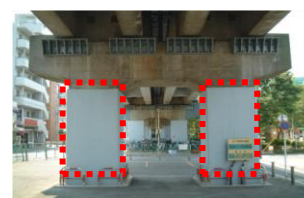
(1) 安全の確保に向けた取組のさらなる充実

●自然災害対策の推進

・地震発生時に備えた震災対策の実施

首都直下地震等の発生時における早期運行再開を実現するため、従来補強不要と判定されていた高架橋の柱約1,200本を対象に耐震補強工事を実施しています。

平成24年度は、有楽町線辰巳～新木場駅付近等4エリアで工事を開始し、71本完成しました。

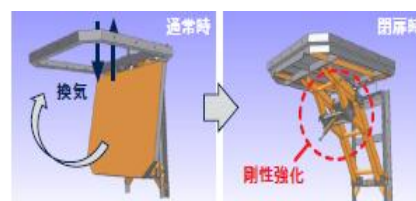


耐震補強イメージ

・大規模水害に備えた浸水対策の実施

中央防災会議等の浸水被害想定に対応するため、出入口412か所、換気口102か所(511機)のほか坑口等において、浸水対策の強化を進めています。

平成24年度末までに、換気口における水深6mの水圧に対応できる新型浸水防止機(従来は2m対応)の設置について、累計34か所(185機)が完了しました。



浸水防止機イメージ

・通信環境整備の実施

地下駅構内及びトンネル内における通信環境の整備を進め、平成25年3月21日より当社線全線(有楽町線・副都心線小竹向原駅～千川駅間を除く)において、駅構内だけでなく、駅間の列車内でもインターネット接続及びEメールの送受信が可能となりました。

・災害に関する情報の伝達

平成25年2月8日より、大規模災害が発生した際に、改札口前に設置している全357台※1のディスプレイに日本放送協会(NHK)が放映する非常災害時緊急放送を放映し、災害に関連する情報を迅速にお伝えできるようになりました。これにより、災害の発生状況や被災状況についてお客様の情報収集にご活用いただけます。



緊急放送イメージ

※1 平成24年度末の台数。

●ホームドアの設置

ホームから線路内への転落事故や、ホームにおける列車との接触事故を防止するため、全ての路線へのホームドア設置を目指しています。平成24年度は、有楽町線の和光市駅及び銀座一丁目駅2駅で供用を開始し、ホームドアの設置駅数は78駅（設置率約44%）となりました。

引き続き、平成25年度中の有楽町線全駅での設置に向け、平成25年6月29日に新富町駅、月島駅、新木場駅3駅において供用を開始する予定です※1。さらに、銀座線への設置へ向けた調査を実施します。

※1 整備完了後の設置率は45%



有楽町線ホームドア

(2) 鉄道サービスのさらなる質的向上

●バリアフリー設備の整備の推進

エレベーター等による1ルート整備について、積極的な用地の取得や施工のスピードアップにより、平成26年度中の100%整備を目指しています。平成24年度末現在、86%となる118駅で整備を完了しています。

エレベーター等による1ルート整備駅※1

(銀)神田駅	(丸)新高円寺駅
(銀)京橋駅	(日)入谷駅
(銀)虎ノ門駅	(日)東銀座駅
(銀)青山一丁目駅	(有)銀座一丁目駅
(銀)外苑前駅	(有)辰巳駅
(銀)渋谷駅	(半)永田町駅
(丸)四谷三丁目駅	(南)赤羽岩淵駅
(丸)中野坂上駅	



1ルート整備率

平成23年度末	75% (103駅/138駅)
	↓
平成24年度末	86% (118駅/138駅)
	↓
平成25年度末(予定)	96% (132駅/138駅)

多機能トイレ整備駅

(丸)中野坂上駅
(丸)東高円寺駅
(日)八丁堀駅



多機能トイレ整備率※2

平成23年度末	89% (122駅/137駅) ※3
	↓
平成24年度末	91% (125駅/137駅) ※3
	↓
平成25年度末(予定)	97% (133駅/137駅) ※3

※1 1ルート整備とは、エレベーター、階段昇降機により段差が解消されたルートを確認すること

※2 多機能トイレ整備率とは、車椅子対応トイレも含めた多機能トイレの整備を実施済みの駅の割合

※3 現在移設工事中である銀座線渋谷駅を除いた駅数

●東西線の遅延及び混雑緩和対策

東西線の遅延防止や混雑緩和を図るため、大規模な駅改良工事などの抜本的対策を実施しています。

南砂町駅（平成32年度完成予定）

→ホーム及び線路増設

茅場町駅（平成30年度完成予定）

→ホーム延伸

門前仲町駅（平成25年度完成予定）

→ホーム拡幅

東陽町駅（平成26年度完成予定）

→出入口新設



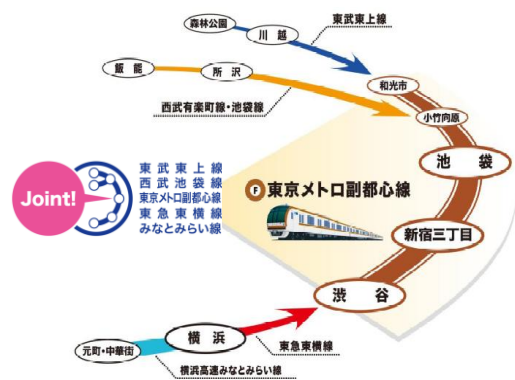
南砂町駅ホーム及び線路増設イメージ

●副都心線等におけるサービスの充実

平成25年3月16日に副都心線と東急東横線・横浜高速みなとみらい線との相互直通運転を開始しました。

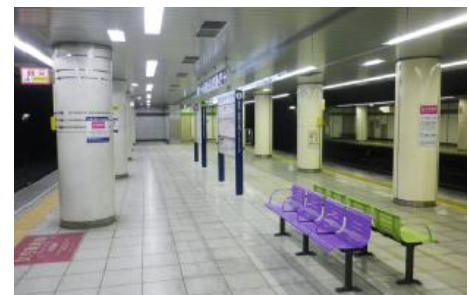
この相互直通運転により、副都心線を中心として埼玉県西南部から横浜・みなとみらいにかけて広域的なネットワークが形成されました。

あわせて、お客様への利便性向上のために、副都心線・有楽町線において、輸送の安定化を図る小竹向原～千川駅間の連絡線のうち千川方面の供用を開始したほか、列車の増発、最終列車の繰り下げ等のダイヤ改正を行いました。さらに、新宿三丁目駅において、改札口、エスカレーターの新設等、お客様がより快適に駅をご利用いただくための駅改装に取り組みました。



●都営地下鉄とのサービス一体化

平成25年3月16日に、半蔵門線九段下駅における都営新宿線との乗換改善工事が完了し、改札口を出ることなく乗換えが可能となりました。また、日比谷線秋葉原駅と都営新宿線岩本町駅を乗換駅として追加指定したほか、丸ノ内線・南北線後樂園駅と都営三田線・大江戸線春日駅、有楽町線・南北線市ヶ谷駅と都営新宿線市ヶ谷駅における改札通過サービスを開始しました。



九段下駅ホーム

●沿線活性化・まちづくり

当社ではより良いまちづくりに寄与するため、駅周辺の再開発に際し、積極的な連携を図っています。

平成24年10月に丸ノ内線大手町駅において「大手町フィナンシャルシティ」との連絡出入口を設置したほか、日比谷線東銀座駅において、歌舞伎座「木挽町広場」直結の連絡出入口を設置しました。さらに、平成25年4月に銀座線京橋駅等で、再開発に合わせ連絡出入口を設置しています。



東銀座駅歌舞伎座連絡出入口

(3) 社会との調和

●車内照明のLED化

環境にやさしい地下鉄を目指し「みんなでECO. 東京メトロ・エコプロジェクト」を展開しており、今後導入する新造車両の車内照明にはLED照明を全面的に採用するとともに、既存車両についても車両改良工事等にあわせて順次LED照明に取替えを進めています。

平成24年度では、銀座線において車内照明にLED照明を採用した1000系車両の営業運転を開始するとともに、丸ノ内線1編成及び半蔵門線2編成において車内照明を蛍光灯からLED照明に取り替えました。



LED化された半蔵門線車内